

杉並区の交通対策について

自転車放置防止対策、南北交通および交通安全対策の取り組みについて、以下のとおり報告します。

1 自転車放置防止対策について（土木管理課）

（1）駅周辺の乗入台数・放置台数と撤去台数の推移

① 乗入台数・放置台数

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元
乗入台数(1日)	30,998 台	30,395 台	30,326 台	30,074 台	30,625 台
放置台数(1日)	1,172 台	1,035 台	1,013 台	913 台	898 台

*乗入台数及び放置台数は年5回調査の平均値

② 撤去台数

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元
撤去台数(年間)	21,445 台	18,563 台	16,853 台	14,576 台	12,633 台

（2）自転車駐車場

① 有料制自転車駐車場

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元
箇所数	41 箇所	40 箇所	40 箇所	40 箇所	41 箇所
収容台数	26,240 台	25,847 台	25,847 台	25,749 台	25,706 台

*自動二輪車は除く

② 自動二輪車置場（平成29年4月1日より受入れ開始）

有料制自転車駐車場を活用し、5か所の自動二輪車置場を整備
（125cc以下79台、125cc超12台）。

駐車場名	下井草南	上井草北	方南町東	浜田山南	久我山南	
台数	125cc以下	15 台	8 台	10 台	20 台	26 台
	125cc超	12 台	—	—	—	—

③ 民営自転車駐車場育成補助

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元
建設費補助件数	—	1 件	6 件	3 件	1 件

（3）放置自転車防止の啓発活動

① 放置防止協力員

令和2年4月1日現在、18駅、366名の協力員が自転車放置防止活動を実施。

② 放置自転車防止クリーンキャンペーン

令和元年度は区内5駅（高円寺、阿佐ヶ谷、荻窪、西荻窪、井荻）で実施し、地域の小中学校、商店会などに参加を呼びかけ、延べ232名が参加。

2 南北交通について（交通施策担当）

南北バス「すぎ丸」は、地域間を結び、区民の足となるコミュニティバスとして「けやき路線」「さくら路線」「かえで路線」の3系統を運行。

（1）1日あたりの利用者数

年 度	H27	H28	H29	H30	R元
けやき路線	1,776人	1,807人	1,835人	1,850人	1,790人
さくら路線	530人	514人	529人	540人	533人
かえで路線	839人	838人	853人	863人	847人

（2）各路線の運営状況

	年 度	H27	H28	H29	H30
けやき路線	運行収入	63,323,445円	63,834,947円	67,380,854円	66,694,437円
	（うち広告収入）	(2,597,650円)	(2,188,100円)	(2,874,450円)	(2,678,900円)
	運行経費	66,313,207円	68,885,688円	70,053,406円	70,839,847円
	補助金額	2,989,762円	5,050,741円	2,672,552円	4,145,410円
さくら路線	運行収入	18,541,485円	17,943,290円	18,515,105円	19,134,556円
	（うち広告収入）	(219,240円)	(209,040円)	(253,560円)	(273,480円)
	運行経費	24,262,466円	24,883,460円	25,665,173円	26,010,430円
	補助金額	5,720,981円	6,940,170円	7,150,068円	6,875,874円
かえで路線	運行収入	28,429,964円	27,865,365円	28,424,212円	28,403,024円
	（うち広告収入）	(1,190,040円)	(1,166,100円)	(1,084,560円)	(1,161,000円)
	運行経費	45,969,348円	45,793,186円	44,638,323円	46,288,925円
	補助金額	17,539,384円	17,927,821円	16,214,111円	17,885,901円

令和元年度は決算後確定

3 交通安全対策について（杉並土木事務所）

区内の交通事故は年々減少しているが、交通事故件数全体に占める自転車事故の割合は、都内平均を上回っていることから、自転車の安全な利用が大きな課題と捉え、啓発活動を実施している。

（1）杉並区内の交通事故件数の推移

年 度	H27	H28	H29	H30	R元
交通事故件数	1,449件	1,338件	1,184件	1,165件	1,062件
自転車関与事故 （自転車の事故関与率）	513件 (35.4%)	471件 (35.2%)	425件 (35.9%)	437件 (37.5%)	426件 (40.1%)
都内自転車の事故関与率	32.3%	32.1%	33.4%	36.1%	39.0%

(2) 交通安全の啓発活動

① 自転車安全利用実技講習

区立小学校の4年生を対象に、自転車の交通ルールやマナーの実技講習を警察署と協力して実施した。

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元
実施回数 (参加者)	40回 (3,163人)	42回 (3,315人)	41回 (3,326人)	41回 (3,411人)	41回 (3,499人)

()内は延べ参加者数

② スケアード・ストレート

スタントマンが自転車事故を再現し、交通事故を模擬体験する教育手法(スケアード・ストレート)による自転車の交通ルールやマナーの講習を警察署と協力して、一部の区立中学校と一般向けに実施した。

年 度	H27	H28	H29	H30	R 元
中 学 校 実施回数	8回 (2,386人)	7回 (2,216人)	8回 (2,350人)	8回 (2,801人)	6回 (1,876人)
一般向け 実施回数	1回 (300人)	3回 (2,290人)	3回 (1,765人)	1回 (250人)	1回 (250人)

()内は延べ参加者数

③ 出前型交通安全講習会

幼稚園や学校、事業所などの依頼に応じ、区職員や警察官が講師として出張する、出前型の交通安全講習会を実施した。

対 象 者	実施回数	参加者数	実施場所
父 兄	2回	230人	私立幼稚園
高 齢 者	1回	25人	ゆうゆう館
社員・生徒	5回	540人	事業所、私立高等学校
区 職 員	2回	77人	区役所会議室

参加者数は延べ人数

④ ストップ・ザ・マナー違反自転車キャンペーン

地元町会・商店会、警察署などと協力して、歩行者や自転車利用者に自転車の安全走行を呼びかけるキャンペーンを令和元年度は5回実施した。

【高円寺庚申通り(5月・9月)、天沼教会通り(4月・9月)、
JR阿佐ヶ谷駅前(5月)】

⑤ すぎなみフェスタ

11月2日、3日開催のすぎなみフェスタに出展し、自転車シミュレーターを使用した交通安全教室と、自転車安全利用クイズを実施した。

【自転車シミュレーター参加者181名、自転車安全利用クイズ参加者1,908名】

⑥ その他の啓発活動

区広報紙や区ホームページ、YouTubeやTwitterなどに交通安全関連記事や動画を随時掲載している。